

5. 自主防災組織リーダー研修会〔滋賀〕

滋賀県自主防災組織リーダー研修会を開催

滋賀県防災危機管理局

滋賀県では、「平成21年度滋賀県自主防災組織リーダー研修会」を東近江市にある滋賀県消防学校を会場に、平成22年1月14日（木）、15日（金）の2日間の日程で開催しました。

この研修会は、防災に関する知識や技術を習得していただくことにより、大規模災害発生時に県内各地域の自主防災組織が迅速・的確に活動できるよう、リーダーとして活躍できる人材の育成を図ることを目的に、自主防災組織、自治会などの役員の方を対象として、（財）日本防火協会と滋賀県の主催で行ったもので、県内から30人が参加しました。

1日目は、県防災危機管理局 小林副局長のあいさつ、研修日程等の説明の後、県の防災危機管理局の職員を講師に「自主防災組織の活動について」の講義から研修を開始、滋賀県での過去の災害や想定される地震、家具固定の方法など防災対策に関する基礎的な知識の説明をはじめ、先進地域での自主防災組織活動の事例紹介などが行われました。

午後からは消防学校教官を講師に「救出訓練」「応急手当・救命講習」の実技研修を行いました。倒壊した木造家屋に閉じこめられた人をジャッキや角材などを使い、10名ずつチームとなってリーダーの指示のもと共同での救出活動、担架による要救助者の搬送、止血法やAEDの使用についての講習などが実施され、参加者は真剣な表情で取り組んでいました。

実技訓練終了後、途中夕食を挟みながら、6班に分かれて「避難所HUG（ハグ）」を実施しました。これは大規模災害発生時に自主防災組織が直面すると思われる、避難所運営をカードゲーム形式で体験できるものです。参加者同士の会話も弾み、大いに盛り上がりました。



研修会に県内から30人が参加



応急手当講習（心肺蘇生法）



DIG演習に取組む参加者

2日目は、山口大学大学院の瀧本浩一准教授とNPO法人ぼうぼうネットの山口隆宏理事の指導のもと、「災害図上訓練DIG」を実施しました。最初に1時間程度、自主防災活動に関して知己に富んだお話をいただいた後、消防学校周辺（東近江市神郷町）の住宅地図を畳2畳程度につなげたものに、この地域の特長である「避難所も含め全面が愛知川の浸水想定区域にある」ことを念頭に置きつつ、地域の道路や河川・水路の状況、避難所や避難場所、消火栓、病院などの災害時に頼りになる施設や設備などを地図上に色分けして書き込みながら基本地図を作成しました。

一通り作成した後、まち歩きを実施。神郷町各所から避難所までの道路をグループ別に手分けして歩き、地図からでは判らない地域に潜む危険箇所や注意点を確認し合いデジカメ



京都市市民防災センターで消火体験

で撮影し帰校後に気づいたことを発表、参加者は皆熱心に取り組んでいました。

研修プログラムの最後は、バスに乗り込み消防学校を出発、京都市市民防災センターの見学へ向かいました。2班に分かれ地震体験に始まり、煙路体験、水消火器での消火体験などを行いました。参加者は火災時、煙によって視界を失うと避難行動が著しく困難になること、激しい地震動ではとにかく頭を守ることと脱出口の確保が重要になることなど、改めて突然の災害時に求められる行動を再確認するとともに、事前の防災対策の必要性を痛感されていました。

研修の締めとして閉講式を市民防災センターのロビーで実施、修了証を各参加者に手渡され、2日間の研修を終えました。

この研修は1泊2日の宿泊研修であり、食事や就寝前の自由時間などにおいても参加者同士の交流や意見交換が活発にされていました。参加者の皆様には今後、本研修の成果を踏まえ各地域での自主防災活動に、より一層取り組んでいただくことを期待しています。

▲ [このページの上に戻る](#)

目次

- [1.全国消防防災主管課長会議の開催](#)
- [2.住宅用火災警報器を設置しましょう（その1）](#)
- [3.平成21年度全国婦人防火連合会総会・第10回応急手当普及啓発推進会議の開催](#)
- [4.住宅用火災警報器設置促進に向けて〔下関〕](#)
- 5.自主防災組織リーダー研修会〔滋賀〕
- [6.【幼少年活動】平成21年度静岡県防火のつどいを開催ほか〔大垣〕](#)
- [7.【婦防活動】2009仙台市婦人防火クラブ大会を開催ほか〔尾花沢〕](#)
- [8.【地方からの便り】長崎市「市民防火のつどい」開催ほか〔胆江〕](#)
- 9.危険物取扱者試験、消防設備士試験実施のお知らせ
- [10.【日本防火協会】住警器維持管理活動支援交付金の内示ほか](#)